専門教育科目　講義科目

科目名：	テクニックに走らないファシリテーション	科目コード	HJ01
		単位	2
科目主査：	米井 隆　　担当講師： 米井 隆	配当年次	1

授業の目的と概要	グループワーク： ☑ あり ☐ なし	個人ワーク： ☑ あり ☐ なし

どんな業界・職種においても、会議や打ち合わせといった何らかの「話し合い」によって仕事が進んでいくことは少なくないでしょう。そしてその「話し合いの質」は、仕事の成果に少なからず影響を与えます。そんな話し合いの場面をうまく進めていくための働きかけがファシリテーションです。また、話し合いをうまく進めていくための重要な役割を担うのがファシリテーターです。本科目ではテキスト内容を参考に、テクニックに走らずに、本当の意味で話し合いをうまく進められる「ちゃんとうまい」ファシリテーターを目指していくためのポイントを体験的に学んでいきます。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、第１章の振り返り（p. 24）、第２章の振り返り（p. 64）、第３章の振り返り（p. 106）の「読者に向けた３つの問いかけ」については自分なりの気づきや考えを書き込んできてください。また、不明点等については質問ができるように準備しておいてください。	
テキスト	『テクニックに走らないファシリテーション 話し合いがうまく進む２つのセンスと３つのスタンス』 米井 隆, 岩元 宏輔, 森 格（著）蔵田浩（監修）, 産業能率大学出版部, 最新版	

この科目の 到達目標	①ファシリテーションとは何かについての理解を深めることができる。 ②話し合いをうまく進めるための２つのセンスと３つのスタンスについて、要点を理解し、自分なりの言葉で説明することができる。 ③ファシリテーションの上達や実践に向けた心がけや技術的な課題について言語化できる。
成績評価 の 方 法	授業に取り組む姿勢と最終試験の得点を成績評価の対象とします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。

事後学習	本科目を通じて得られた学びや課題を、自身の仕事や学業における話し合いの場面で、実践してみてください。また、自分自身がファシリテーターではない話し合いにおいても、「影のファシリテーター」としてよりよい話し合いの実現に寄与することを基本姿勢としてください。
事後学習の 参考文献	『ファシリテーションの教科書』グロービス著, 吉田素文執筆, 東洋経済新報社, 2014年 『ファシリテーション・グラフィック』堀公俊, 日本経済新聞出版社, 2006年

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑カメラ・マイクは必須となります。